

(公財)川崎市
国際交流協会の

講師 紹介



後期語学講座 初級英会話

ジョナサン
Jonathon
キャンベル
Campbell先生

「カナダのロンドン」出身です。 Join our English Family!!



My name is Jonathon Campbell. I'm from Canada. I was born in Edmonton but I grew up in London. That's London in Canada, not London, England. Canada's London is much smaller than the original London but it's a very nice, peaceful city (and we even have our own Thames River!). There are a lot of farms around London so there's always delicious and fresh food to be found.

When I was in Canada I studied some Judo and Kendo. My friends at the Dojo suggested I visit Japan. So I came here just over 15 years ago. I have taught English in language schools, junior high schools, high schools, colleges, and several universities. I have also done some proofreading and editing for English textbooks.

At the Kawasaki International Center I teach beginner classes. Everyone is very friendly and cheerful. Some people are nervous at first but that doesn't last long. People quickly make new friends and have fun. We practice a lot of English and everyone has many chances to speak. I hope you will come and join our English family!

カナダ出身のジョナサン・キャンベルです。エドモントン生まれ、ロンドン育ちですが、イギリスのロンドンではなく、カナダのロンドンです。カナダのロンドンは、元祖よりずっと小さいですが、とても素敵で落ち着いた雰囲気の街です。「テムズ川」という名前の川もちゃんとあります! 周りに農場や畑がたくさんあるので、新鮮でおいしい食材には困りません。

カナダで柔道と剣道を習っていたころ、友達に勧められて来日したのが15年ほど前。日本では、語学学校、中学高校、短大や大学で教えたり、英語の教科書の校正や編集をしてきました。

川崎市国際交流センターでは、初級英会話を教えています。生徒の皆さんはみんなとても楽しくていい方ばかりで、最初は緊張している方も、すぐに友達を作って楽しく英語を学んでいます。英語を話す練習をたくさんする「English family」にご参加ください。

(英文:ジョナサン・キャンベル先生)

川崎市国際交流センターで行っているイベント・講座案内

下記「講座」の申し込み先は川崎市国際交流協会まで(8ページ参照)

イベント 第17回 カナガワ・ビエンナーレ国際児童画展

8月28日(水)～9月3日(火) 午前9時～午後9時(1階展示ロビー、無料)

第17回の今回は、93の国と地域から、合計24,008点もの応募があり、その中から大賞3点をはじめとする数百点の作品が選ばれました。当センターでは、大賞作品と、川崎市在住の子どもたちの入選作品20点を中心に展示を予定しております。いずれも個性豊かな力作で、国や民族の違い、言葉の違いを超えて新鮮な感動を与えてくれます。子どもたちの作品の背景にある、文化や価値観の多様さをぜひご覧いただき、ご体感ください。



「ハトの新しい巣」

| 大賞 | | | | |
|------------------------------|----|----|---------------|-------|
| 氏名 | 年齢 | 性別 | 題名 | 出身国 |
| Angela Filovska(アンジェラ・フィルスカ) | 8歳 | 女 | 「無題」 | マケドニア |
| Kang Choi(カン・チョイ) | 8歳 | 男 | 「ハトの新しい巣」 | 韓国 |
| 押尾 づばみ | 6歳 | 女 | 「きょうのごはん何かな?」 | 横浜市 |

募集 民間交流団体国際交流事業補助金に 申請する団体を募集します。

川崎市内の民間団体が行う、国際交流事業を支援するための補助金です。
 ◎申請期間:9月2日(月)～10月1日(火) 午前9時半～午後4時半
 ◎申請書:当センターで直接、またはホームページからダウンロードし、直接提出
 ◎後期補助金対象事業期間:9月1日(日)～平成26年3月31日(月)
 ◎交付:審査委員会を経て決定



「無題」



「きょうのごはん何かな?」

講座 2013年度後期 語学講座10月 開講

講座内容、日程、申込等についての詳細は、ホームページまたはチラシをご覧ください。(8月中旬広報・チラシ配布開始予定)

※当協会の語学講座は、すべて半期ごとの内容で、年間を通じた継続講座ではありません。また、都合により、下記の内容に変更が生じる場合があります。 ※受講料にテキスト代は含まれておりません。

| 講座名 | 日程・時間 | 講師 | 受講料(税込) |
|------------------|------------|----------------------------|---------|
| 準中級のフランス語 | 木 午後(全12回) | アレクサンドラ・小椋・クレメール(慶應義塾大学講師) | 18,000円 |
| 初級英会話A | 水 午前(全18回) | スティーブ・リア(玉川大学准教授) | 27,000円 |
| 初級英会話B | 木 午後(全18回) | ジョナサン・キャンベル(フェリス学院大学講師) | 27,000円 |
| 中級英会話A | 金 夜間(全18回) | ジョン・プラスキー(東京女子大学講師) | 27,000円 |
| 中級英会話B | 土 午後(全18回) | トレバー・モレイ(フェリス学院大学講師) | 27,000円 |
| 中級+コミュニケーション(英語) | 土 午前(全18回) | スティーブ・リア(玉川大学准教授) | 27,000円 |
| 英語(準上級レベル)講座 | 火 夜間(全12回) | 水澤 祐美子(慶應義塾大学講師) | 18,000円 |
| ハンガール入門 | 土 午後(全12回) | 李 泰文(イテムン)(慶應義塾大学講師) | 18,000円 |
| 中国語入門 | 土 午後(全12回) | 高 偉建(こう いけん)(慶應義塾大学講師) | 18,000円 |

募集 「外国人が見たカワサキ」 フォトコンテスト 作品

- ◎応募締切:11月25日(月)当日消印有効
- ◎テーマ:カワサキのこんなところが好き、すばらしい! カワサキ・日本のこんなところがフシギ、ちょっとヘン…
- ◎応募資格:川崎市在住、在勤、在学・年齢不問 外国にルーツのある方ならどなたでも。一人3点まで応募可。
- ◎応募方法
①持参もしくは郵送 ②ホームページから
- ◎審査:審査員により、優秀賞、入選作品等を決定。入賞者・作品は、12/14(土)のWinter Gathering(ウインター・ギャザリング)にて表彰・展示いたします。

今秋・冬のイベント・講座予告

- 中国語による国際理解講座(9月)
- 日本語による国際理解講座(10月)
- 英語による国際理解講座
- 魅惑の音楽紀行(10月、11月)
- 日本語スピーチコンテスト(2月)
- 外国人のための「日本の料理」(10月)

カンボジアで子どもたちと交流・取材

みずたに すずか
川崎市立稲田中学校3年 水谷涼香さん

認定NPO法人国境なき子どもたち(KnK)の「友情のレポーター」*として、今年3月末から10日間、カンボジアを訪れ、ストリートチルドレンやKnKが運営する自立支援施設「若者の家」の取材をした水谷さん。5月末には、約1,000名の全校生徒の前で自身の体験を発表しました。

水谷さんによると、「友情のレポーター」の話聞いてから調べ始めたカンボジアの子どもたちの実情に、「彼らの強さや生きるパワーはすごい。こんな子どもたちに会ってみたい。」と思って参加。行ってみると、ス



多文化 交差点 14

トリートチルドレンの現状は衝撃的だったが、「若者の家」で出会った子どもたちは、オシャレ好きで自分と同じ「ふうの子どもたち」だった。以前は無意識のうちに「自分とは違う」と決めつけていたことを感じたとのこと。

この体験を通して、今まで当たり前だったことに感謝するようになった。現地では、子どもたちは通学するために親と離れて施設で生活している…家族と一緒にいられること、帰る家があること、勉強できること、他にもいろいろチャレンジできること…そんな「当たり前のこと」に感謝しつつ、カンボジアの子どもたちのことを思い出すと、しんどいことも前より少し頑張れるようになったという。



これからも、今回の経験を身近な人たちから伝えていきたい、と考えている水谷さん。自分の話を聞いて、「かわいそうではなく、彼らの現状を知り、世界の子どものことを考えて欲しい。そして、自分のことを見つめ直して、今を大切に、精一杯生きることが大事だと思う。」とまっすぐな

目で、やさしく語ってくれました。自分や身近な人たちのことを大切にしながら、広い世界のことを真剣に考える…川崎で、そんな子どもたちがたくさん巣立って行けるように応援していきたいと思いました。

(取材:編集ボランティア 伊東 都)(現地写真:KnK提供)

*「友情のレポーター」は、海外に派遣された日本の子どもたちが、現地での取材・交流体験や感じたことを日本で伝え、自分たちに何ができるのか考えていくプログラム。KnKが実施。詳細は、同団体HP: <http://www.knk.or.jp/> Tel:03-6279-1126(月～金10:00～18:00)